

令和6年度

船橋の台所事情



船橋市の **予算** を

わかりやすく説明します



船橋市

も く じ

予算の基礎知識	3
一般会計歳出	5
一般会計歳入	8
市民生活に身近な予算の内訳	10
船橋市の家計簿	11
船橋市の財政状況	12
基金の紹介	18
令和6年度予算の主要事業	20

予算の基礎知識

「予算」とはなんですか？

1年間のお金の使い道、それが予算です。

市では、お金の使い道を毎年4月から翌年の3月までの年度単位で考えます。

この1年間に市に入ってくる収入を見積もり、収入の範囲内で市が行っているいろいろな仕事（福祉、教育、ごみ処理、道路整備、消防など）にどのくらいのお金を使うかという支出の計画を立てます。これを「予算」といい、市の仕事は、この予算に従って行われます。

予算はどのように決めるの？

収入

市民の皆さんに納めていただく税金、公民館やスポーツ施設などの使用料、国や県からの補助金などがどのくらい入ってくるのかという見積もりをします。

支出

日頃、市民の皆さんから寄せられる意見や要望も取り入れながら、次年度の仕事の予定を立て、その仕事に必要な金額を見積もります。見積もった収入ですべての仕事ができればよいのですが、とても収入の範囲には収まりません。

そこで、市民生活を守るために緊急性や必要性が高いかどうか検討し、優先度が高いと判断したものについて、第3次船橋市総合計画との整合を図りながら次年度に行う仕事を決め、予算案を作成します。

お金の使い道を決めることはとても大切なので、市民の代表で構成される市議会で審議してもらい、議決を受けてはじめて予算が決まります。

市役所の作業

予算編成方針 8月

予算要求 10月

市長査定 1月下旬

予算案提出

市議会の審議

予算案審議 2月下旬

議決

当初予算成立 3月下旬

決まった予算は変えられないの？

4月から翌年の3月までの1年間の予算は、3月に市議会での議決を受けて決まります。これを「当初予算」と言います。

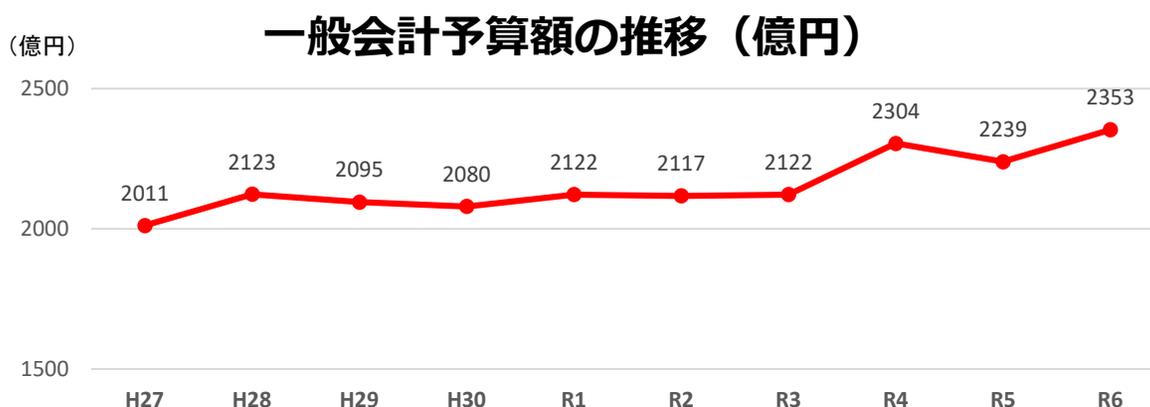
しかし、年度の途中で国が新たな制度を作ったり、台風などの災害が起こったり、社会情勢の変化や想定できなかったことが生じることもあります。

年度の途中でも、その変化や想定外のことに対応するために、追加の予算を作ります。これを「補正予算」と言います。補正予算も当初予算と同じく市議会の議決を受けて決まります。

予算の規模と会計の仕組み

一般会計

市の基本的な仕事（福祉、教育、ごみ処理、道路整備、消防など）を行うための会計です。一般的に市の予算と言えば「一般会計」をさし、市税を主な財源としています。令和6年度の予算規模は、2352億5000万円で前年度比5.1%の増となりました。



特別会計

特定の収入（国民健康保険料、介護保険料など）がある、特定の目的のための予算を経理する会計を「特別会計」と言います。

お金の出し入れをわかりやすくするために一般会計と財布を分けて管理します。

区分		令和6年度予算額
特別会計	国民健康保険事業	512億2300万円
	公共用地先行取得事業	16億8800万円
	船橋駅南口市街地再開発事業	6億9300万円
	介護保険事業	522億3200万円
	母子父子寡婦福祉資金貸付事業	1億6500万円
	後期高齢者医療事業	97億3100万円
	計	1157億3200万円

公営企業会計

市が企業的性格を持った事業（市場、病院、下水道）を運営するための予算を経理する会計を「公営企業会計」と言います。事業の収入を主な財源としています。

特別会計と同様にお金の出し入れをわかりやすくするために、一般会計や特別会計と財布を分けて管理します。

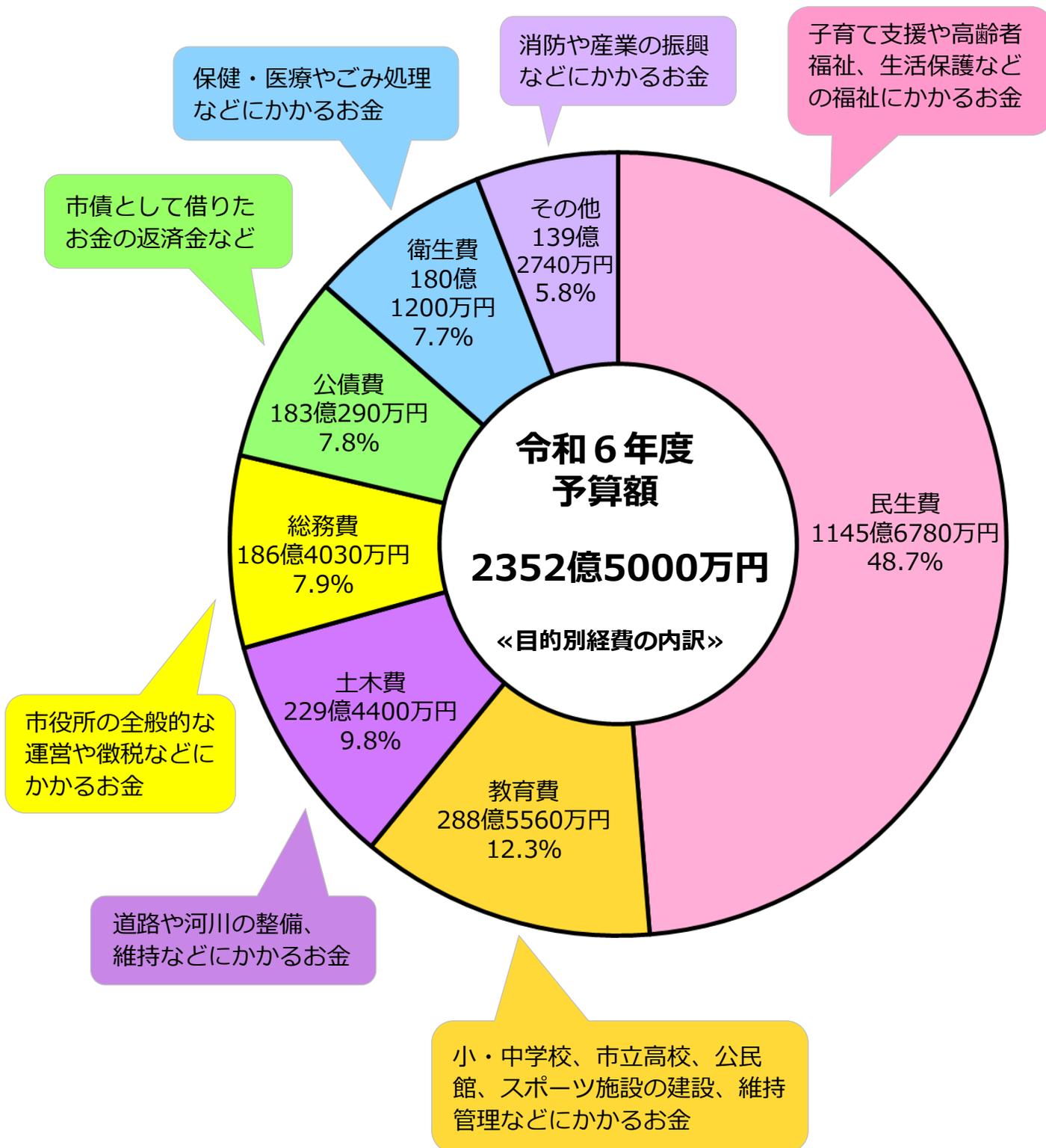
区分		令和6年度予算額
公営企業会計	地方卸売市場事業	14億5600万円
	病院事業	259億6700万円
	下水道事業	399億8435万円
	計	674億735万円

一般会計歳出

市の支出にはどんなものがあるの？

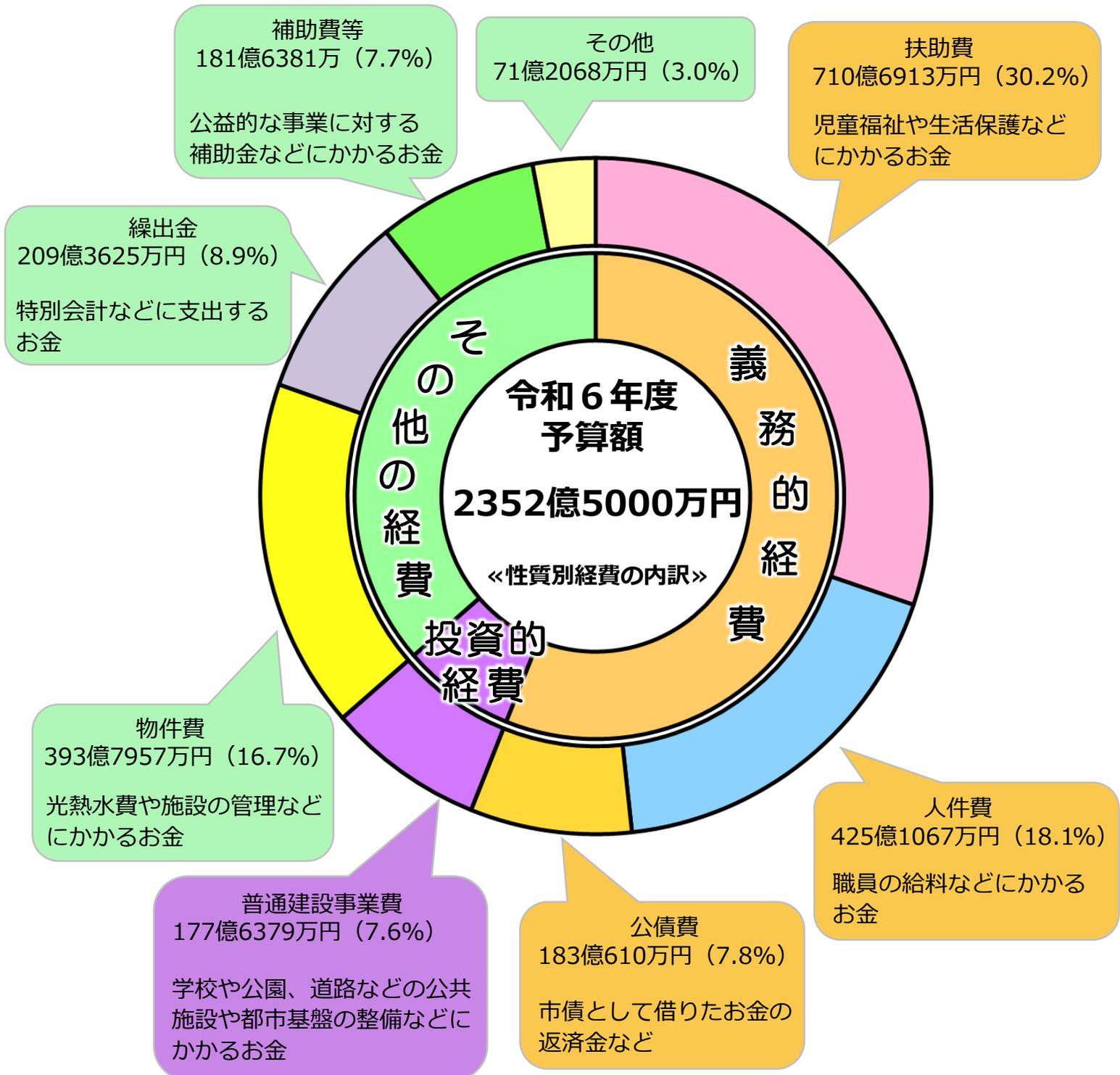
目的別経費による内訳

市の歳出（1年間の市の支出）を経費の目的に着目して分類すると、下のグラフのようになります。



性質別経費による内訳

市の歳出を経費の性質に着目して分類すると、下のグラフのようになります。



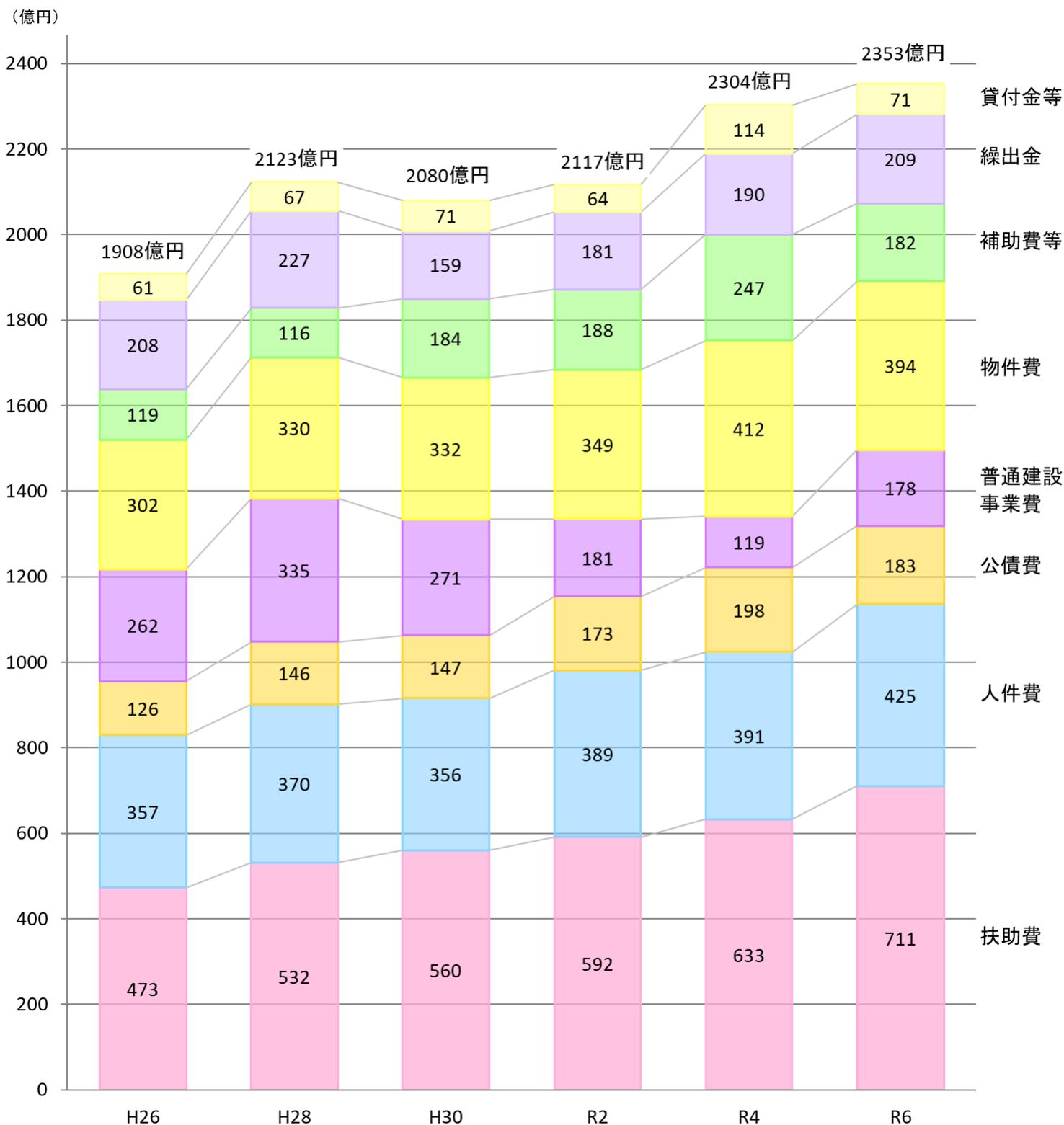
義務的経費・投資的経費とは…

- 義務的経費・・・法令などにより支払いが義務付けられていて、減らすことが難しい経費
- 投資的経費・・・道路、橋、公園、学校などの建設や大規模な修繕などの経費

性質別経費の推移

予算額を10年前と比較すると歳出全体で445億円も増えています。そのうち最も増加額の大きい義務的経費である扶助費は、障害者福祉費や保育所にかかる経費などの社会保障経費の増加により、10年前に比べ約238億円増加しています。

一般会計 歳出予算額の推移（性質別）



一般会計歳入

市の収入にはどんなものがあるの？

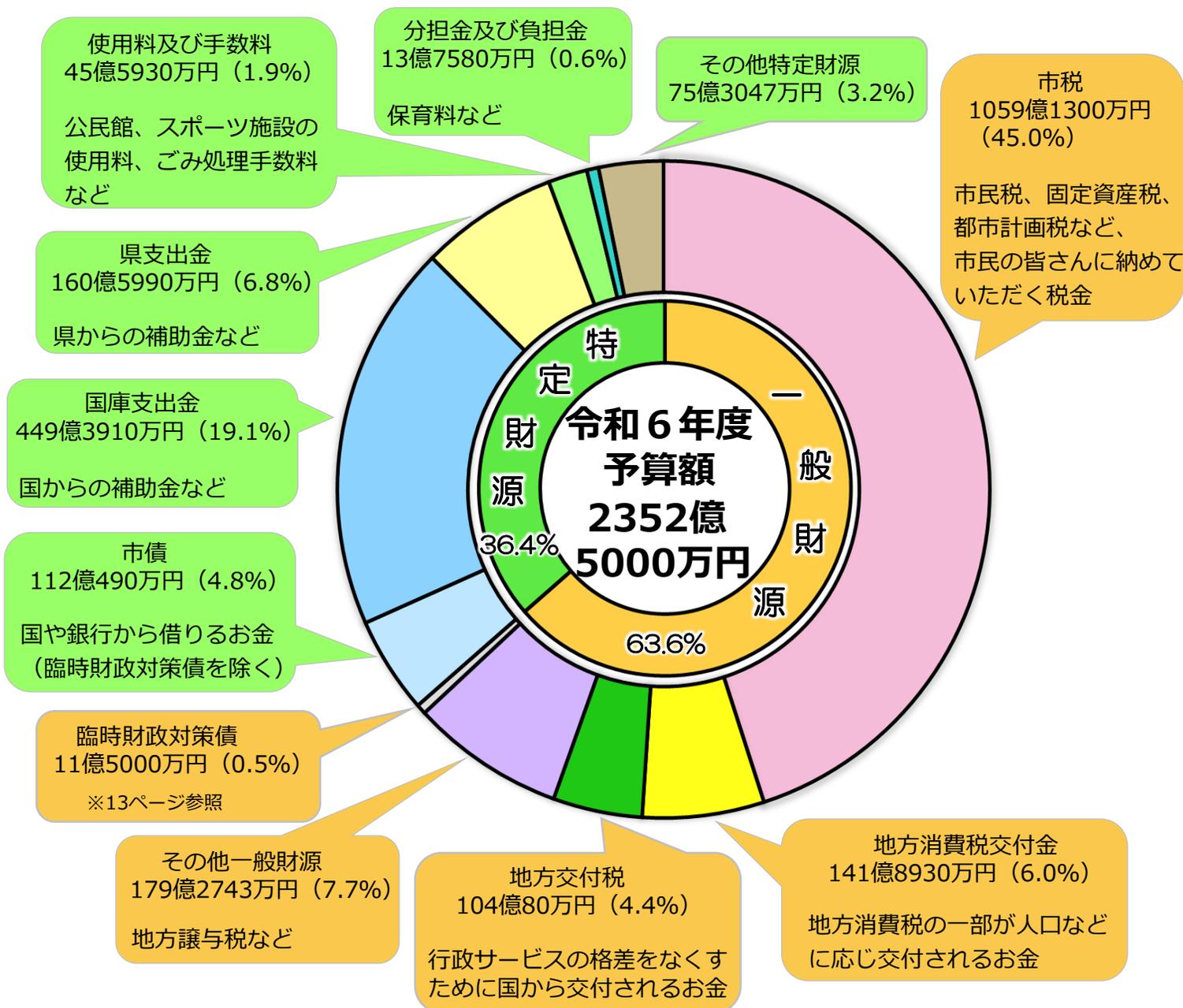
市の歳入（1年間の市の収入）のうち、最も大きいものは「市税」です。また、国や県からもらう「国庫支出金」や「県支出金」、借入金である「市債」などがあります。

これらの収入は、使い道が自由な「一般財源」と使い道が決められている「特定財源」に分けられます。

一般財源は、市が受け取る時点で使い道が決まっていないお金のことで、市税や地方交付税などがあります。

特定財源は、市が受け取る時点で使い道が決められているお金のことで、道路などの建設事業に使うために国からもらう補助金や、公共施設の改修工事などに使うために国や銀行から借りる市債などがあります。

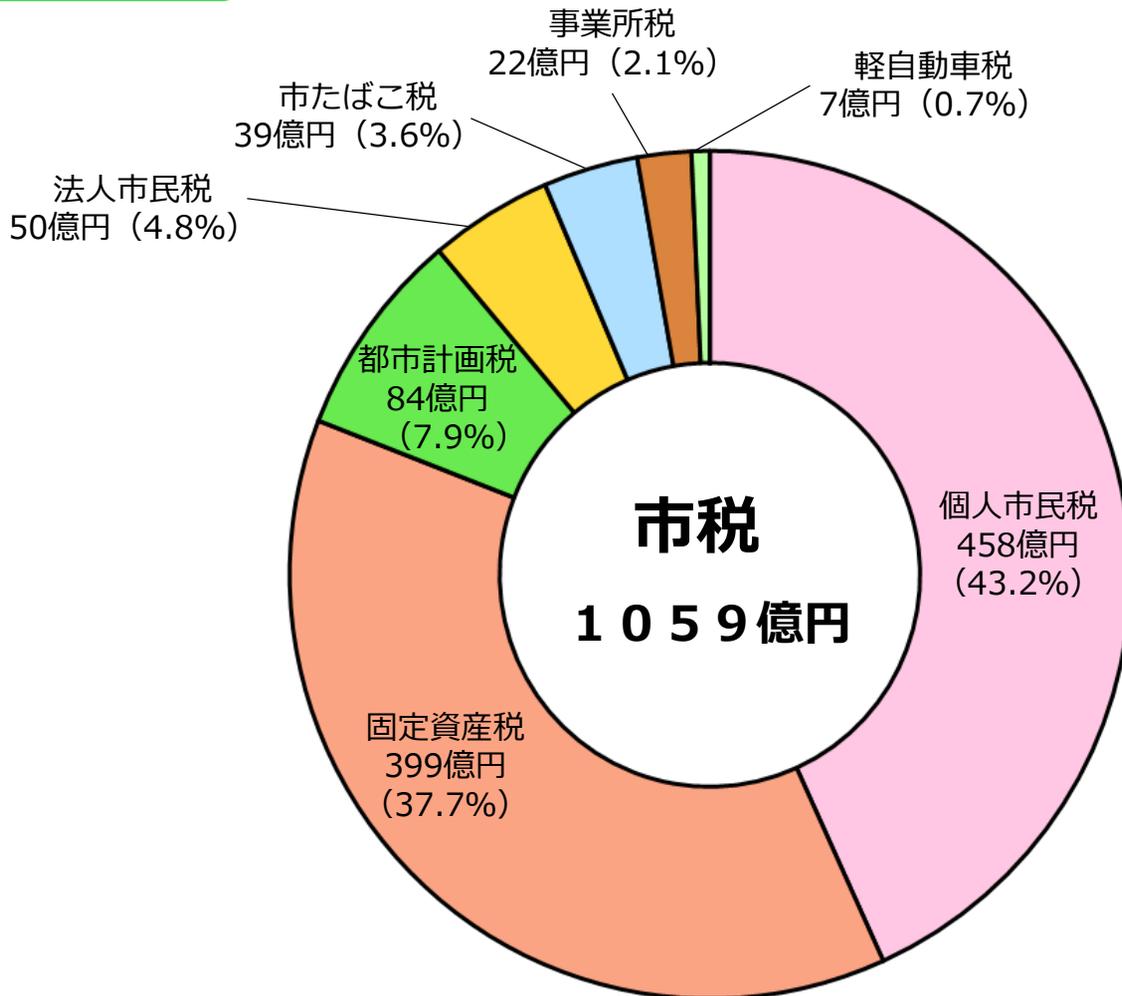
市民の皆さんの様々なニーズにお応えする仕事を行うためには、使い道を自由に決めることができる「一般財源」の確保が重要です。



市税の概要

市税は、市の歳入の約半分を占めています。そのうち、「個人市民税」と「固定資産税」が多くを占めています。市税の中では、景気の影響を受けやすい「法人市民税」の割合が低いことから、比較的変動の少ない歳入構造が本市の特徴です。

市税の内訳



個人市民税 市民の皆さんに納めていただく税金

固定資産税 土地・家屋・償却資産（事業用の機械など）にかかる税金

都市計画税 下水道・道路などを整備する都市計画事業の費用に充てるための税金

法人市民税 市内に事業所等がある法人に納めていただく税金

市たばこ税 たばこの製造業者などが市内の小売販売者に売り渡した「たばこ」にかかる税金

事業所税 都市環境の整備などの費用に充てるため事業所などに納めていただく税金

軽自動車税 軽自動車や原付バイクなどにかかる税金

市民生活に身近な予算の内訳

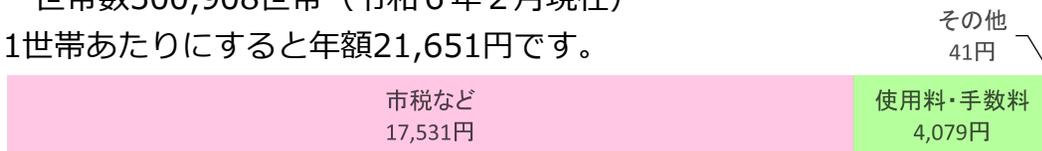
皆さんが納める税金や国や県からの補助金がどんな事業にどのくらい使われているかを市民生活に身近な予算を例に紹介します。

①ごみの収集・処理にかかる予算

ごみの収集や焼却にかかる人件費や清掃工場の運営費などで年間65億円かかります。

世帯数300,908世帯（令和6年2月現在）

1世帯あたりにすると年額21,651円です。

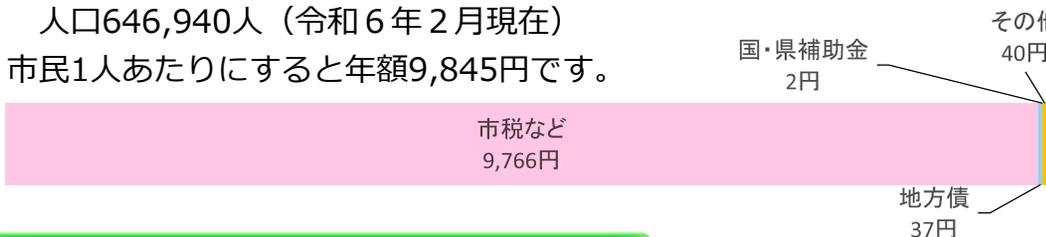


②消防・救急にかかる予算

消防活動や救急活動にかかる人件費や消防車両の維持費などで年間64億円かかります。

人口646,940人（令和6年2月現在）

市民1人あたりにすると年額9,845円です。

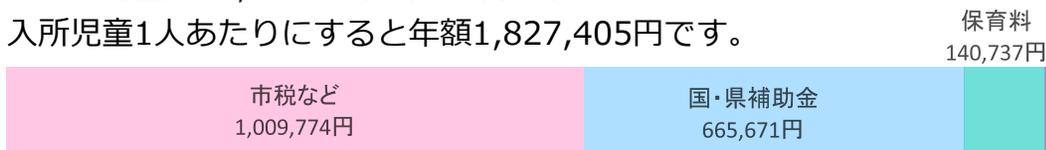


③保育所の管理運営にかかる予算

認可保育所の管理運営にかかる人件費や施設の維持費などで年間222億円かかります。

入所児童数12,161人（令和6年推計）

入所児童1人あたりにすると年額1,827,405円です。

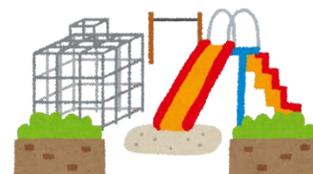
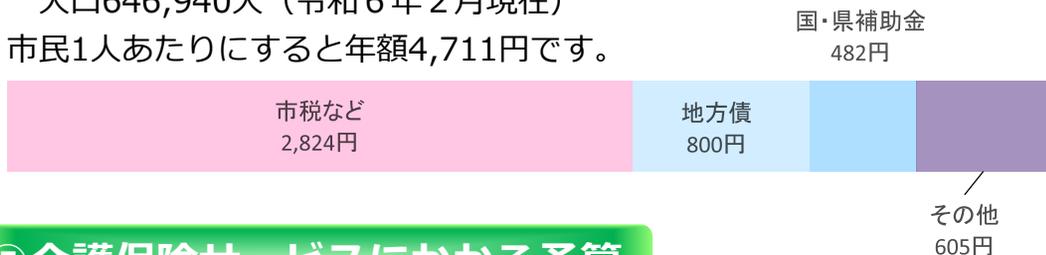


④公園の整備・維持管理にかかる予算

公園の整備や維持管理にかかる費用などで年間30億円かかります。

人口646,940人（令和6年2月現在）

市民1人あたりにすると年額4,711円です。

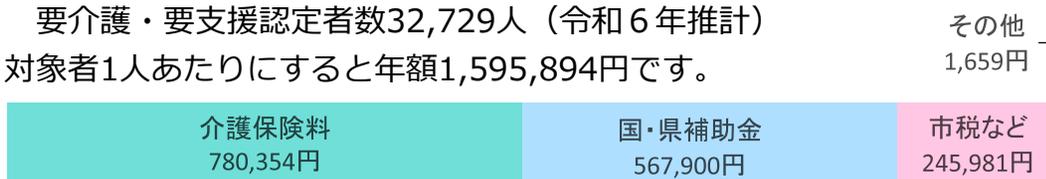


⑤介護保険サービスにかかる予算

介護サービス・介護予防の実施等にかかる費用などで年間522億円かかります。

要介護・要支援認定者数32,729人（令和6年推計）

対象者1人あたりにすると年額1,595,894円です。



船橋市の家計簿

市の予算額（一般会計）は、2352億5000万円と非常に大きいため、額を縮小して市の予算を家計簿に置き換えてみました。給与年収458万円（※）（給与月収382,000円）であらわしています。



※年収458万円は、国税庁が調査した令和4年分民間給与実態統計調査の平均給与額

船橋市の財政状況

市の貯金、借金などの状況や、市の財政の健全化を図る指標を他市との比較を交え説明します。

船橋の財政状況はいいの？

平成19年に、自治体の財政破綻を未然に防ぐことを目的とした「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が制定されました。

自治体財政の早期健全化や再生の必要性を判断する「健全化判断比率」として、4つの財政指標があります。

これらの指標のうち1つでも国が定めた基準（早期健全化基準）以上の数値になった場合には、財政健全化計画を策定し、財政状況改善の方策を議会の承認を受けたうえで公表する必要があります。船橋市は現在のところ、いずれの指標もこの基準を下回っています。このうち特に大切な2つの指標を説明します。

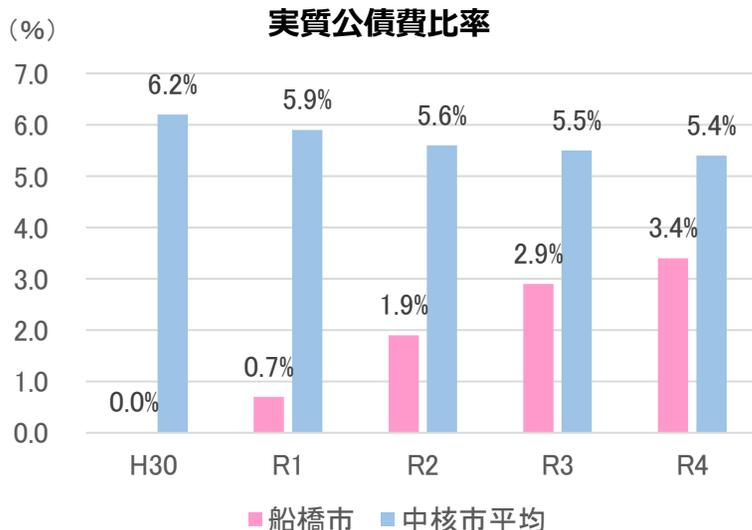
健全化判断比率（令和4年度決算 単位：％）

指標	船橋市	中核市平均	早期健全化基準
実質公債費比率	3.4	5.4	25.0
将来負担比率	-	34.1	350.0
実質赤字比率	-	-	11.25
連結実質赤字比率	-	-	16.25

実質公債費比率

収入に対する公債費の占める割合で、数字が小さいほどその年度の借金返済の負担が小さいということです。

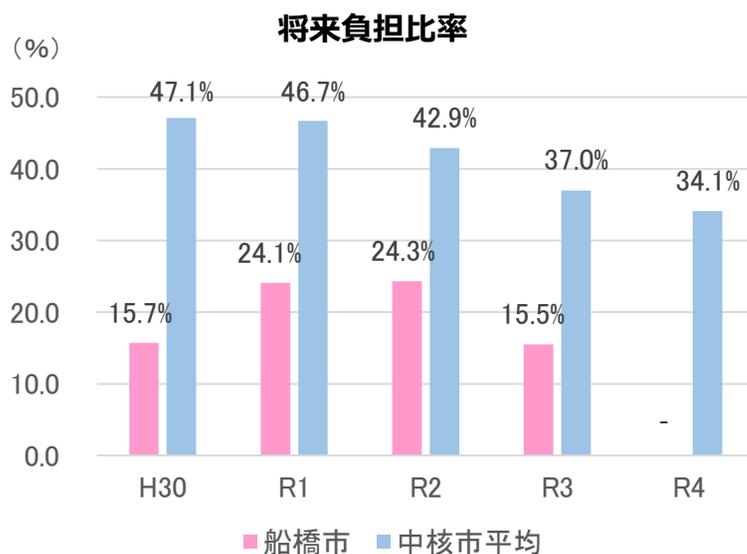
令和4年度決算では、小中学校の大規模改修や清掃工場の建て替えなどの借金返済が始まったことによって負担が増え3.4%となっておりますが、県内54市町村中11番目に小さく、全国の中核市62市中でも18番目の小ささです。



将来負担比率

市の実質的な借金から貯金などを除いた額が収入の何年分かを示したもので、数字が小さいほど将来の借金返済の負担が小さいことを示しています。

令和4年度決算では、借金の返済が進んだことや市の貯金を増やせたことなどによって、将来返済する予定である借金を貯金などで十分返済可能となったため「-」で表示していますが、将来の財政需要に備えるため、今後も堅実な財政運営が必要となっていきます。



なぜお金を借りるの？

「借金が少ない方が良い」と考えるのは当然ですが、学校や公園などの公共施設の整備には多額の費用が必要です。これらの費用を1年間の予算だけで賄ってしまったら、その1年は他の仕事ができなくなってしまいます。

また、学校や公園などは長い期間たくさんの市民が使いますが、1年間の予算で整備してしまうと、将来の市民は整備費用の負担なしに施設を利用できることとなります。

そこで、「市債」という借金をして、1年間の整備費用の負担を小さくし、何年にもわたり返済することで、施設を利用するすべての世代の市民に整備費用を公平に負担してもらうことができます。

市債(借金)を活用しないと・・・公共施設を整備する年度の市民が全額負担し、将来の市民は負担なし



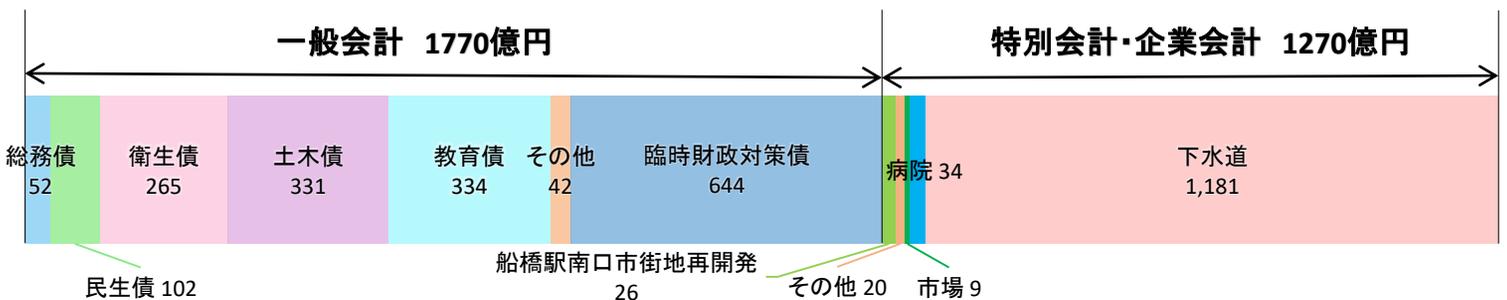
市債(借金)をして・・・将来の市民も整備費用を公平に負担します



今までいくら借りて、何に使ってきたの？

市債の残高は、令和4年度末に、一般会計で1770億円、全会計で3040億円となっています。その使い道は、学校や道路、清掃工場、下水道といった施設の整備や改修が中心です。近年は、公共施設の大規模改修や道路・河川などの整備に多く使われています。また、「臨時財政対策債」の残高が大きくなっています。

令和4年度末現在 市債残高



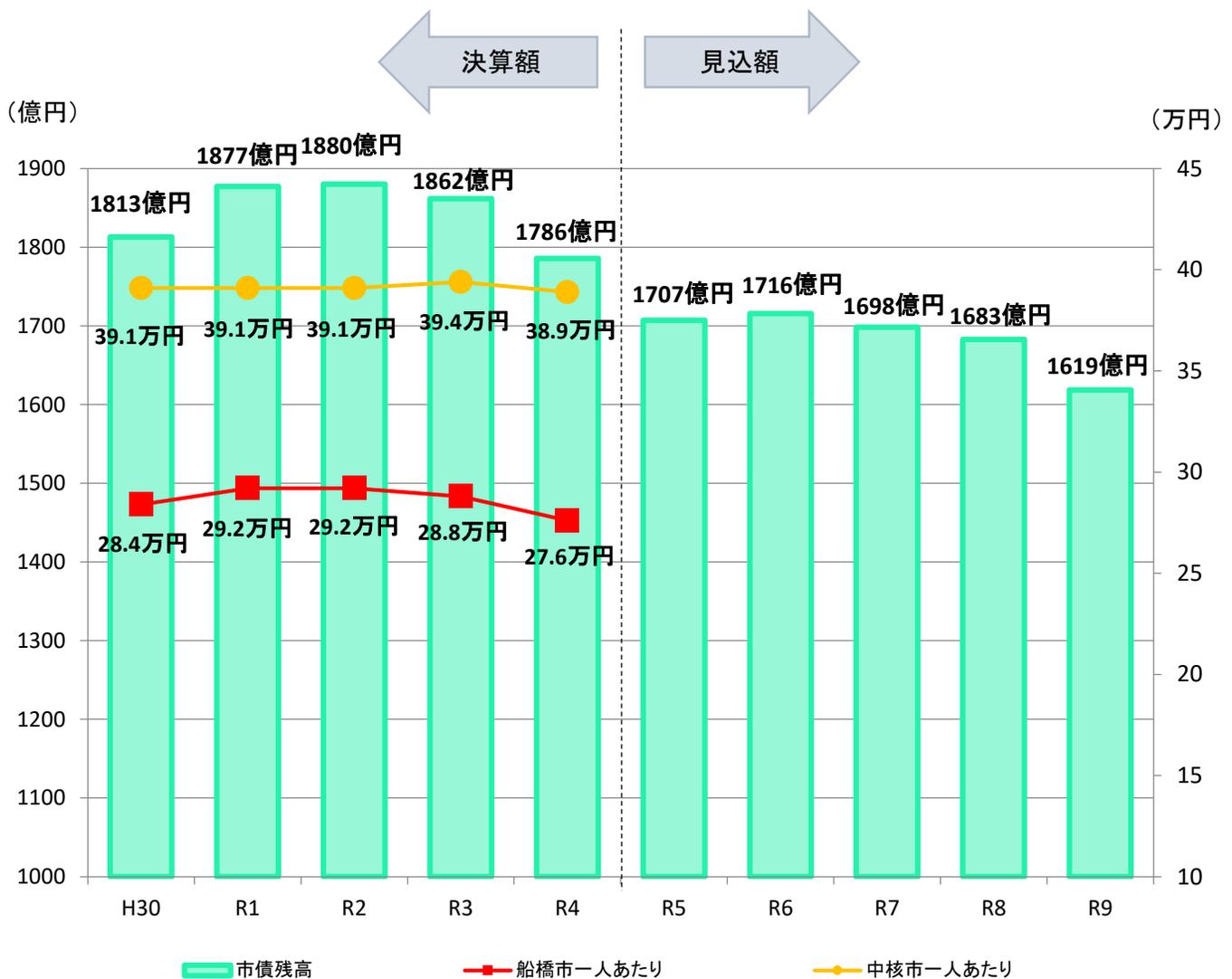
- 総務債……………出張所、防災施設の整備、東葉高速鉄道への出資など
- 民生債……………障害者・老人・児童福祉施設、保育所の整備など
- 衛生債……………清掃工場、保健福祉センターの整備など
- 土木債……………道路、橋りょう、公園、河川の整備など
- 教育債……………小・中学校、高等学校、公民館の整備など
- 臨時財政対策債…国が地方に交付する地方交付税の一部について、市が代わりにする借金で、返済にかかる費用は将来の地方交付税に加算されて交付されます

近年の市債の残高は？

令和4年度末の市債残高は、普通会計で1786億円、市民一人あたりの金額は276,007円となります。これは全国の中核市62市（平均389,451円）の中では14番目に少ない額となります。

小・中学校等の公共施設の大規模改修や清掃工場の建替、臨時財政対策債の発行により増加していた市債の償還が進み、残高は今後減少していく見込みです。

市債残高の推移

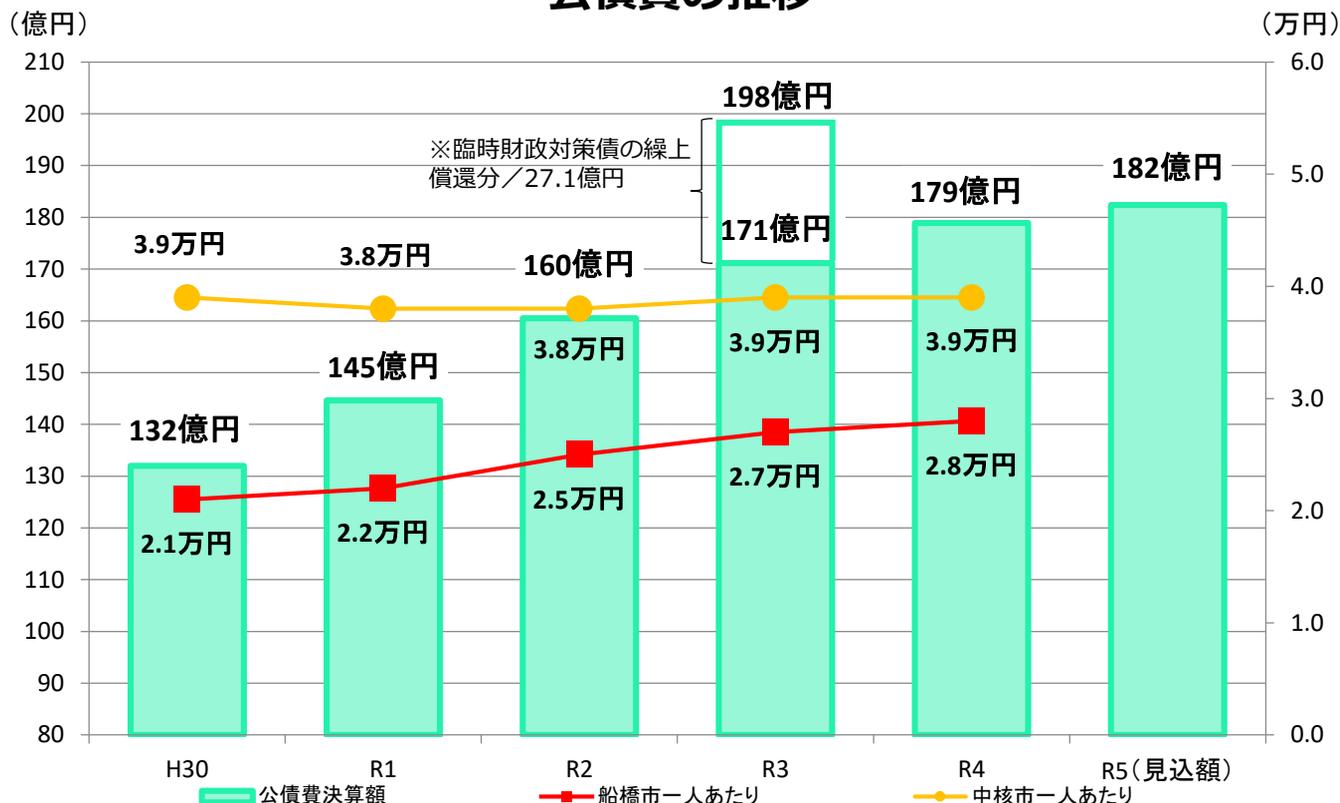


普通会計ってなに？

全国の自治体の予算の作り方をみると、介護サービス事業や区画整理事業などを一般会計で行ったり、特別会計や企業会計で行ったりとバラバラな部分があります。

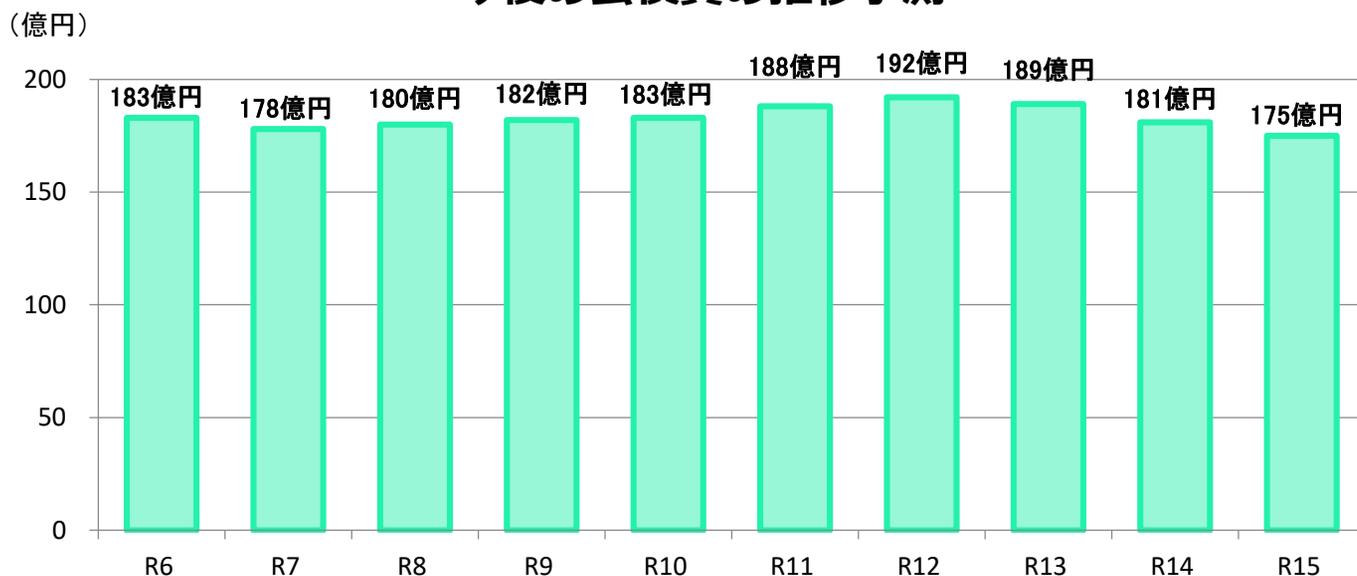
そこで、自治体間で比較できるようにした統一的な基準となる会計区分を「普通会計」と言います。

公債費の推移



※令和3年度の公債費は198億円と急増していますが、臨時財政対策債の償還費として普通交付税が追加交付され、繰上償還を行ったことによりです。実質的には171億円でした。

今後の公債費の推移予測



返済は大丈夫なの？

市債の返済金を「公債費」といい、市税などの一般財源で返済しています。

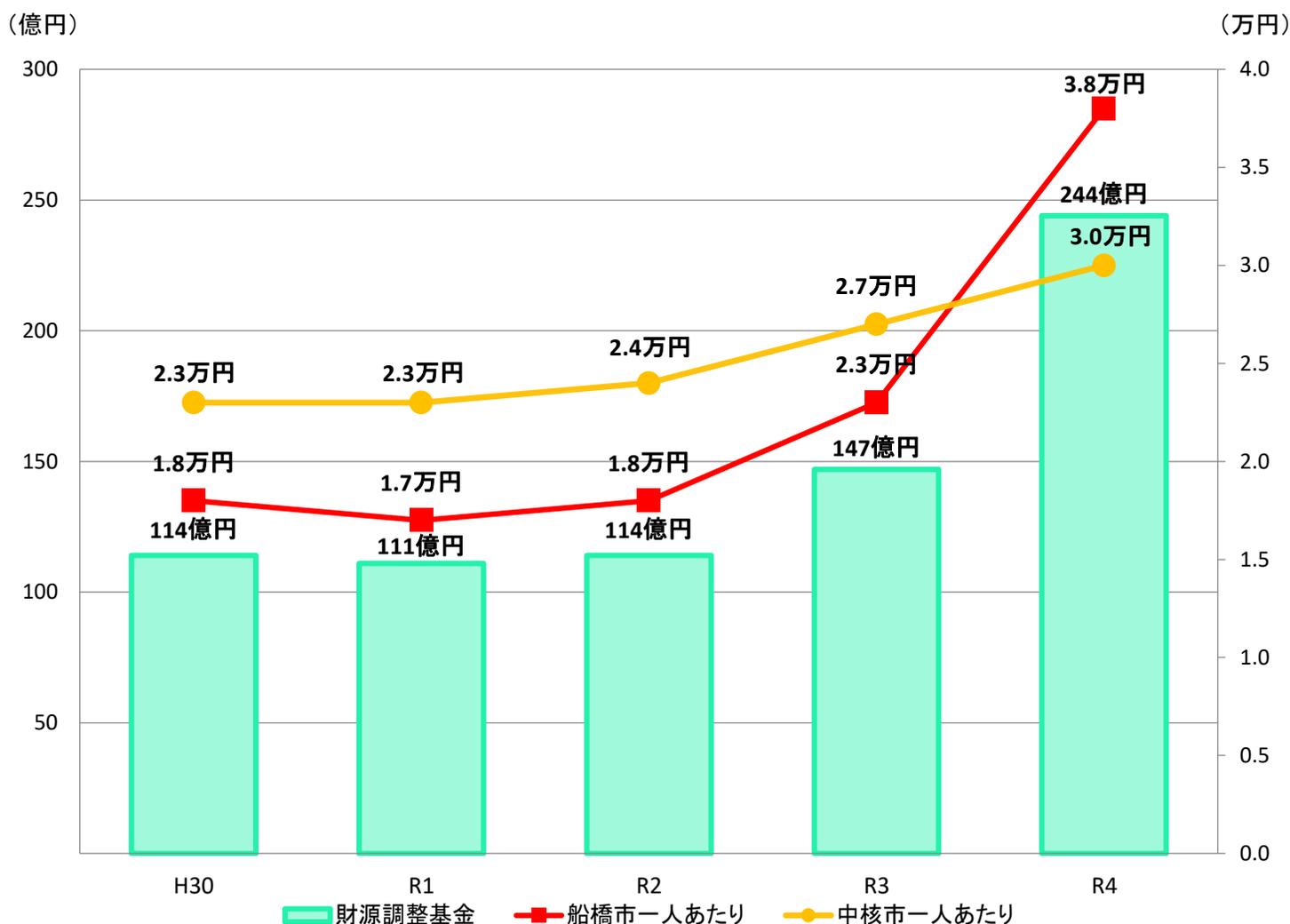
令和4年度の公債費の決算額（普通会計）は179億円で、市民一人あたりの金額は27,650円となります。これは全国の中核市62市（平均38,957円）の中で15番目に少ない額となっています。

今後も公共施設の老朽化や長寿命化への対応を行う必要があるため、引き続き普通建設事業の優先順位付けを行うことで、将来の公債費の負担が軽くなるように取り組んでいきます。

貯金はあるの？

市には、急激な収入の落ち込みや、災害復旧などの想定外の支出、また今後見込まれる公共施設の老朽化や少子高齢化社会への対応などに備えるための貯金があります。これを「財源調整基金」と言い、毎年、決算の時に余ったお金（剰余金）などから積み立てています。

基金残高の推移



財政状況の比較は「中核市同士」で

同じ自治体と言っても、村や町から人口が100万人を超える市まで様々です。また、自治体により必要とされる行政サービスが異なります。

特に、政令指定都市（千葉市など）や中核市（船橋市、柏市など）は、都道府県で行う仕事の一部を行っているため、普通の市と比べると行っている仕事や必要となる財源が大きく異なります。そのため、財政状況を他市と比較するときには、船橋市と同じ中核市同士で比較します。

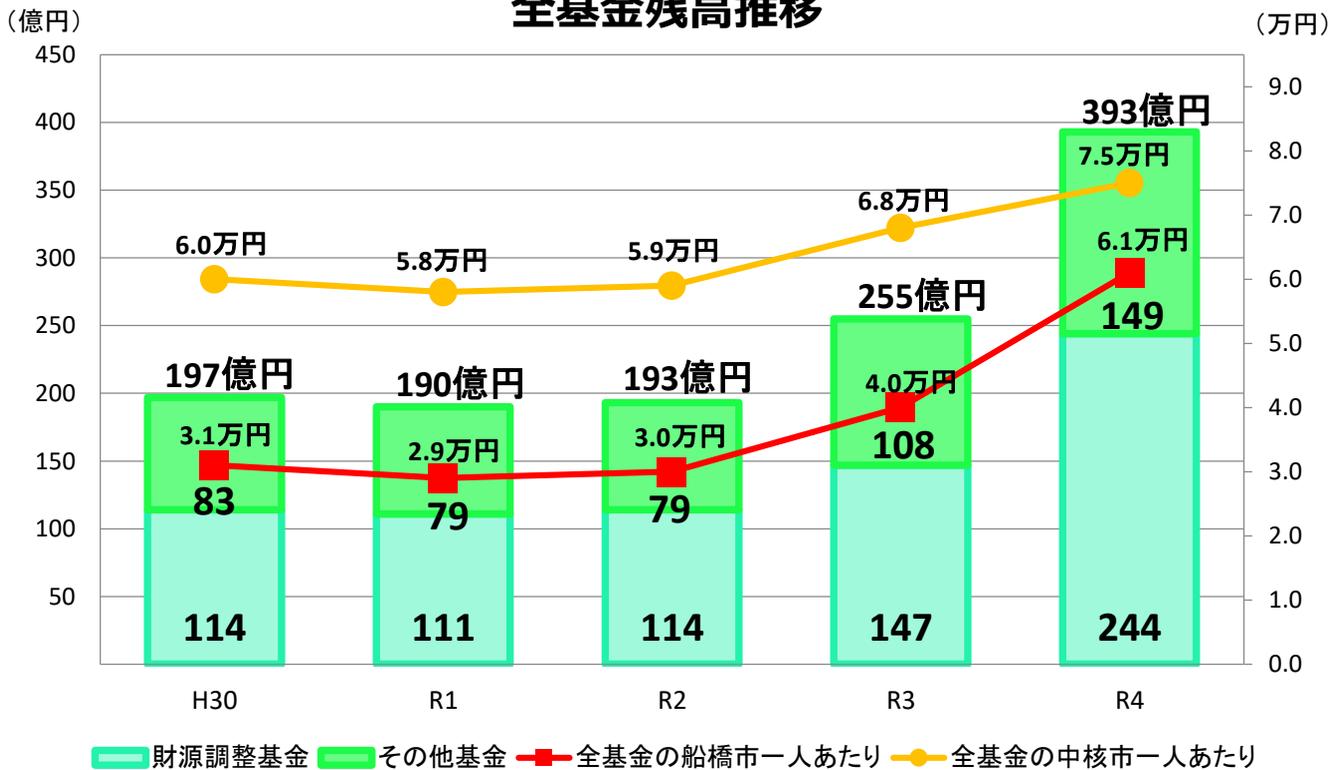
その他の貯金はどのようなものがあるの？

財源調整基金の他にも、特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立てる貯金（積立基金）や一定額の貯金そのものを運用し、事業を行うための貯金（定額運用基金）があります。

	基金の名称	目的
積立基金	職員退職手当基金	退職手当の財源に充てるため
	減債基金	市債の償還に必要な財源を確保するため
	公園緑地整備基金	公園の整備、緑の保全、緑化の推進を図るため
	福祉基金	地域福祉の増進に資するため
	一般廃棄物処理施設等整備基金	施設の整備に必要な資金を積み立てるため
	文化振興基金	文化の振興に資するため
	森林環境譲与税基金	森林の整備及びその促進に関する施策の財源に充てるため
	公共施設保全等基金	公共施設の計画的な保全や更新に必要な財源に充てるため
	医療センター整備基金	医療センターの整備に必要な資金を積み立てるため
定額運用基金	高額療養費貸付基金	高額療養費の貸し付けのため
	文化芸術ホール事業基金	自主事業を円滑かつ効率的に行うため

船橋市の貯金額はどれくらい？

全基金残高推移



近年、基金の残高は増加していますが、全基金残高を中核市と比較すると、市民一人あたりの貯金は少ない方です。

財源調整基金では・・・

船橋市 … 一人あたり3.8万円

中核市 … 一人あたり3.0万円

13位 / 62市中

全基金では・・・

船橋市 … 一人あたり6.1万円

中核市 … 一人あたり7.5万円

40位 / 62市中

基金の紹介

医療センター整備基金について

東葛南部保健医療圏の中核病院として重要な役割を担ってきた船橋市立医療センターは開院後約40年が経過し、施設の老朽化等に伴い、海老川上流地区土地区画整理事業地区内に移転建て替えをすることとなりました。

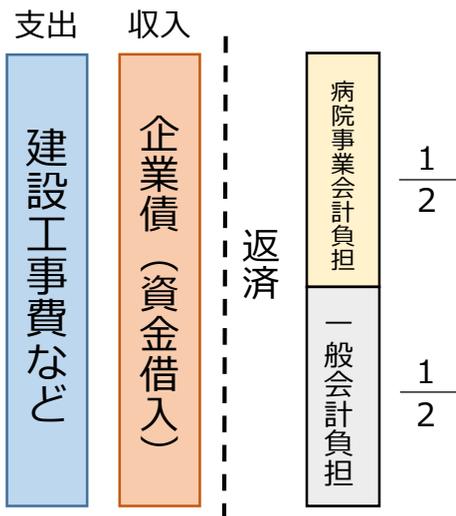
病院の整備には多額の費用がかかり、支払いは長期にわたります。そこで、将来にわたる市民の負担を軽減するための貯金として、船橋市立医療センター整備基金を設置することとしました。

医療センター整備に必要な費用の支払い

医療センター整備に必要な費用の大半は、病院が資金の借り入れをして支払います。

借り入れたお金は、分割して返済することになります（元金と利子の支払い）。

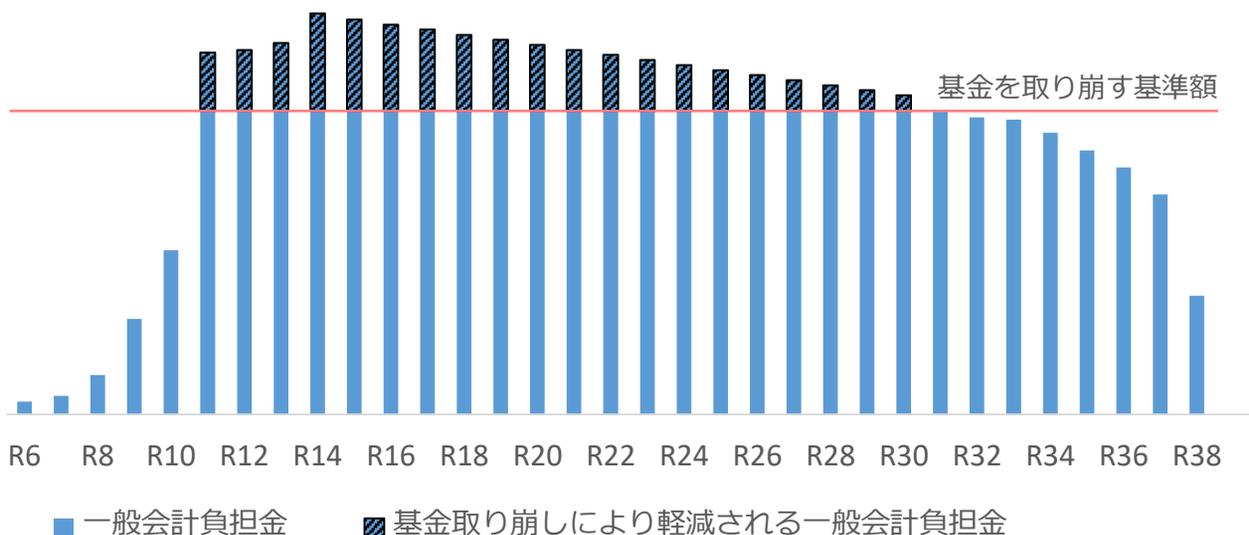
なお、医療センター建設に係る費用は、国の定める基準で一般会計の負担が認められており、この基準に基づき、原則、元金と利子の支払い額の2分の1を市の一般会計の負担として、残りを病院事業会計の負担として支払うこととなります。



基金の使途

1 建設年度に基金を取り崩し、企業債の発行を抑制することで、元金と利子の支払い額を減らします。

2 将来支払う元金と利子に対する一般会計負担金の額が大きくなる年度に基金を取り崩し、一般会計の負担軽減を図ります。



※グラフはイメージです

医療センターの建て替えについて

なぜ建て替えをするのか

・施設の老朽化

開院後約40年が経過し、建物や設備は随時改修・更新工事を行っていますが、医療提供を休止できない部門では、給水・給湯配管・排水管の改修が非常に困難で、漏水事故等を防ぐための対策が課題になっています。

・施設の狭あい化（数・スペースの不足）

いくつかの部門では、患者さんの受け入れに限界が生じているほか、最新の医療機器を設置することができない、待合スペース・通路・検査室などが狭いなどの課題があります。

・機能の分散

開院以降、医療需要の増加等に対応するために施設の増築が繰り返され、機能が分散配置された結果、効率性の低下だけでなく、利用する方もわかりにくい建物になってしまっています。

どのような病院ができるのか

新病院の基本設計は、現在の課題を解決するため、以下の7つの基本方針をもとに進められました。

- | | | | |
|---|----------------------|---|--------------------|
| 1 | 新しいまちのランドマークとなる病院づくり | 2 | 高度な急性期医療を強化する病院づくり |
| 3 | 患者・家族視線の病院づくり | 4 | スタッフ視線の病院づくり |
| 5 | 災害に強い病院づくり | 6 | 成長と変化に対応できる病院づくり |
| 7 | 環境に配慮した病院づくり | | |



鳥瞰パース 南側上空からの眺め（令和4年度基本設計成果品より）
※今後の検討により変更の可能性あります。また、病院敷地以外はイメージです。

医療センター整備に関する
詳しい情報を知りたい方
は、医療センターホーム
ページをご覧ください。



令和6年度予算の主要事業

令和6年度の予算は、「人も まちも 輝く 笑顔あふれる 船橋」の実現に向けた取り組みを着実に実施するため、安心して子どもを産み育てることのできる環境の整備、教育環境の充実、市民の健康増進、高齢者も障害のある人も誰もが安心して暮らすことのできる福祉の充実や都市基盤の整備など、本市の未来を見据えた施策を中心に配分するとともに、昨今の資材価格・労務単価の高騰にも適切に対応しました。

ここでは、令和6年度予算に計上した主要事業を、自治体DXに向けた取り組みと第3次総合計画(※)基本構想の5つの「めざすまちの姿」ごとにご紹介します。

(※) 第3次総合計画は「基本構想－基本計画－実施計画」で構成され、基本構想及び基本計画の計画期間は令和4年度から令和13年度までの10年間となっております。

自治体DXに向けた取り組み

● 粗大ごみ電話受付センター（5403万円）

家庭から排出される粗大ごみ収集のインターネット受け付け・キャッシュレス決済を令和7年4月から導入するため、コールセンターの運営準備とシステムの構築を行います。

● 中学校給食予約システムの導入（733万円）

市立中学校の選択制給食の申し込みが、インターネットでできるシステムを導入します。

● こども発達相談センター受理面接予約管理システムの導入（184万円）

初回の来所相談の面接予約・日時変更等が、インターネットでできるシステムを導入します。

一人一人が自分らしく輝くまち

● 体育館への空調設備設置（17億1158万円）

市立中学校・市立船橋高校の体育館・武道室に引き続き、市立小学校・特別支援学校の体育館に空調設備の設置を進めます。

● スクールアシスタントの配置（5344万円）

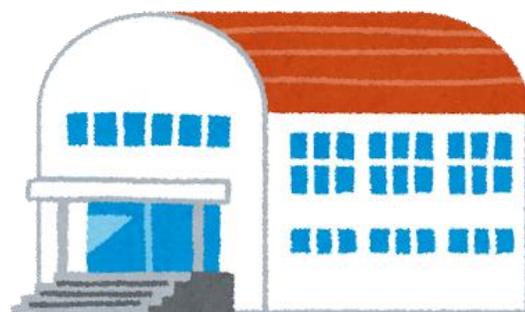
不登校に対する支援のため、校内教育支援センターを拡充します。個々の事情により学級での集団活動が難しい子どもの見守りや、学校職員の業務の補助を行うスクールアシスタントを、市立小学校・特別支援学校に配置します。

● ピアサポーターの配置（642万円）

市立中学校（10校）の校内教育支援センターに通う生徒の見守りや、教員と共に学習指導等の補助を行うピアサポーターを配置します。

● (仮称) 埋蔵文化財調査研究センターの整備（1067万円）

市内各所で分散収蔵している出土文化財を集約し、調査研究のほか、収蔵・展示等を行うため、旧金杉台中学校を(仮称)埋蔵文化財調査研究センターへ改修する設計を行います。



住み慣れた地域で、健康で安心して暮らせるまち

● 妊婦・乳幼児健康診査の費用助成（5億6268万円）

妊娠40週を超過した妊婦や、医師の判断で妊娠40週以内に妊婦健康診査の受診票を使い切った妊婦に対し、追加で最大2回分の健診費用を助成します。

● 保育料のきょうだい軽減（2040万円 歳入減▲1億7561万円）

多子世帯の負担軽減のため、9月から子どもの年齢にかかわらず、保育所等の保育料について、2人目を半額、3人目以降を無料とし、軽減範囲を拡大します。

● 児童相談所の整備（2億919万円）

児童虐待の未然防止から一時保護等の措置、在宅支援まで切れ目なく一貫して市が行うため、令和8年度の開設に向けて、市児童相談所の建設事業を行います。



▲市児童相談所（完成イメージ図）

● 帯状疱疹ワクチン接種費用の助成（1億3512万円）

帯状疱疹の発症や重症化を予防するため、50歳以上の人に、任意予防接種である帯状疱疹ワクチン接種の費用を助成します。

● 期日前投票所運営（190万円）

投票する機会を確保するため、令和7年3月に予定されている県知事選挙から、高野台地区で北部公民館期日前投票所までの巡回バスを運行するとともに、同投票所の開設期間を延長します。また、新たに高根台公民館に期日前投票所を開設します。

活力と魅力にあふれ、進化し続けるまち

● 海老川上流地区のまちづくり（21億700万円）

「ふなばしメディカルタウン構想」の実現を目指している海老川上流地区のまちづくりでは、引き続き土地区画整理事業の支援を行います。また、東葉高速鉄道株式会社が実施する、新たな駅施設の整備等に要する費用を負担します。

● 医療センターの建て替え（32億7094万円）

● 救急ステーションの建て替え（1億3640万円）

救急医療・がん医療を主体とする、高度な急性期医療を提供する船橋地域の中核病院である医療センターは、さらなる機能強化を図るため、建て替えを進めています。また、ドクターカーを配置している救急ステーションも建て替えます。令和6年度から建設工事を行う予定です。

● オーデンセ市姉妹都市提携35周年記念事業（800万円）

オーデンセ市との姉妹都市提携35周年を記念し、ふなばしアンデルセン公園にデンマーク製の遊具を設置します。また、切り紙作家を招き、子どもたちへのワークショップを開催します。

快適で豊かに暮らせる、人と環境にやさしいまち

● グリーンスローモビリティ（※）の導入（165万円）

公共交通不便地域での持続可能な交通手段の構築を図るため、坪井地区で地元組織が主体となったグリーンスローモビリティの実証運行を実施します。

（※）時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した移動サービス

● 公園・緑地の整備（1億6521万円）

公園が不足している地区を中心に公園適地の調査を進め、用地買収等を行い公園・緑地を整備します。（仮称）三山8丁目公園、（仮称）丸山3丁目公園の整備を行い、高野台公園の用地取得を行います。

● 電動車等の導入（854万円）

温室効果ガス削減のため、電気自動車・ハイブリッド自動車を購入します。また、海神公民館では公用車の代替としてカーシェアリングを利用します。

命と暮らしを守る強靱なまち

● 木造住宅等の耐震診断・耐震改修の助成（1391万円）

民間建築物の耐震化促進のため行っている助成事業のうち、平成12年5月以前に建築された木造住宅の所有者に対し、耐震診断・耐震改修に要する費用の助成上限額等を引き上げます。

● 防災行政無線の再配備（1150万円）

広く市民に災害情報を伝達することができるよう、令和6年度は、防災行政無線を再配備するための実施設計を行います。

● 消防局庁舎の建て替え（4億6167万円）

老朽化した消防局庁舎の、国家公務員宿舎船橋行田住宅跡地への移転・建て替えを実施します。令和9年度に供用を開始するため、令和6年度は実施設計や移転先の用地取得、建物解体撤去工事を行います。

● 映像伝送システムの導入（242万円）

いち早く正確に災害の状況を把握し、人命救助活動の効率化や安全管理体制の強化を図るため、ドローンやスマートフォン等で災害現場の映像をリアルタイムに伝送できるシステムを導入します。



▲ドローンからの空撮



市では、（公益）千葉県市町村振興協会から「サマージャンボ宝くじ」と「ハロウィンジャンボ宝くじ」の収益金の配分を受けています。

宝くじの収益金は、都道府県別の販売実績額などによって配分されるので、購入は千葉県内の宝くじ売り場で!!



市の財政に関する詳しい情報は、
市のホームページでもご覧いただけます。

<https://www.city.funabashi.lg.jp/>



トップページ



市政・市の紹介



財政（予算・決算）

令和6年4月